

本の森からこんにちは

みどり きせつ うんどうかい
 緑がまぶしい季節になりました。運動会も、もうすぐです。
 ごがつ かぜ げんき れんしゅう
 五月のさわやかな風の中、元気に練習をがんばっていますね。
 からだ うご のう かっぱつ はたら うんどうかい れんしゅう
 体を動かすと脳も活発に働くそうです。運動会の練習をがんばった後や、外で遊んだ後は、一息ついて静かに本を読んでもみませんか？心も体もリフレッシュして元気に過ごしましょう。本を読む前と後、手を洗うのを忘れないでね。



し うんどうかい 知っていますか？運動会のはじまり



せかい せいき なかごろ がっこう
 世界では、19世紀の中頃に、イギリスの学校でおこなわれたのがはじまりといわれています。日本では、東京の築地にあった海軍兵学校のりょう じん せんせい ていあん ねん めいじ ねん がつ にち
 寮で、イギリス人の先生の提案で、1874年（明治7年）3月21日にはじめられたといわれています。この時におこなわれたのは、とき ときょうそう
 はし たかと な きょうぎ なか みず おけ あたま
 走り高跳び、ボール投げなどの競技ですが、中には、水をいれた桶を頭の上に乗せて走ったり、豚のしっぽをつかんでゴールするという遊びのようなものもあったようです。その後、これが札幌農学校、とうきょうだいがく
 などから、各地の学校へ広がっていきました。記録によると、とうきょうだいがく
 では 1883年から「運動会」の名前で行われていて、それが「運動会」のしはじまりといわれています。

（「うんどうかい がんばれ よーいドンの日！」ますだゆうこ：作 文溪堂 より）

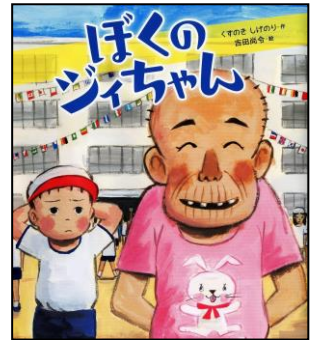
こんげつ おほん うんどうかいとくしゅう
今月の推し本 運動会特集



『ぼくのジィちゃん』

くすのきしげのり：作 吉田尚令：絵（佼成出版社）

ぼくは、2年生。クラスで一番、走るのが遅いから、明日の運動会、「いやだなあ…」って思っている。その夜、田舎から、ジィちゃんがやってきた。服装だってダサイし、ジィちゃん、なんだかカッコ悪いんだ。そんなジィちゃんが、運動会当日、とうさんのかわりに、PTAクラス対抗リレーにでることになって…。



『さかさことばでうんどうかい』

西村敏雄：作（福音館書店）

「しんぶんし」「たけやぶやけた」など、前から読んでも、後ろから読んでも同じ言葉や文のことを「回文」といいます。しりとりや早口言葉のように昔からある言葉遊びです。そんな楽しい回文で、動物たちの運動会が始まります。



『しっばいにかんぱい』

宮川ひろ：作 小泉るみ子：絵（童心社）

失敗はだれにでもあります。でも、達也のおねえちゃん、小学校のクラス別対抗リレーで大失敗をしてしまいました。勝ちたいという思いだけであせってしまったんです。翌日になっても元気がでないおねえちゃん。おねえちゃん、大丈夫？心配だけど、おろおろするだけで、達也は、なにもできませんでした。

